

# 病理標本のデジタルスライド化の受託を開始しました

病理標本の顕微鏡写真を撮影するためには、専用のカメラを準備し撮影を行わなくてはならず、しかも美しく撮影することは容易ではありません。

そこで、(公財) 実験動物中央研究所 病理解析センターでは、バーチャルスライドスキャナ NanoZoomerS60 (浜松ホトニクス株) を導入し、病理標本からのデジタルスライドサービスを開始しました。

## メリット

### ・PCによる観察

無料(フリー)の画像閲覧ソフトウェア NDP.view2 (Windows 版または Mac OS 版) を使用することにより、お手持ちの PC での閲覧・取り込みが可能。

### ・スライドの保存

デジタルデータではスライドガラスの破損、紛失および劣化の心配がなく、いつでも同じデジタルデータとして観察が可能。

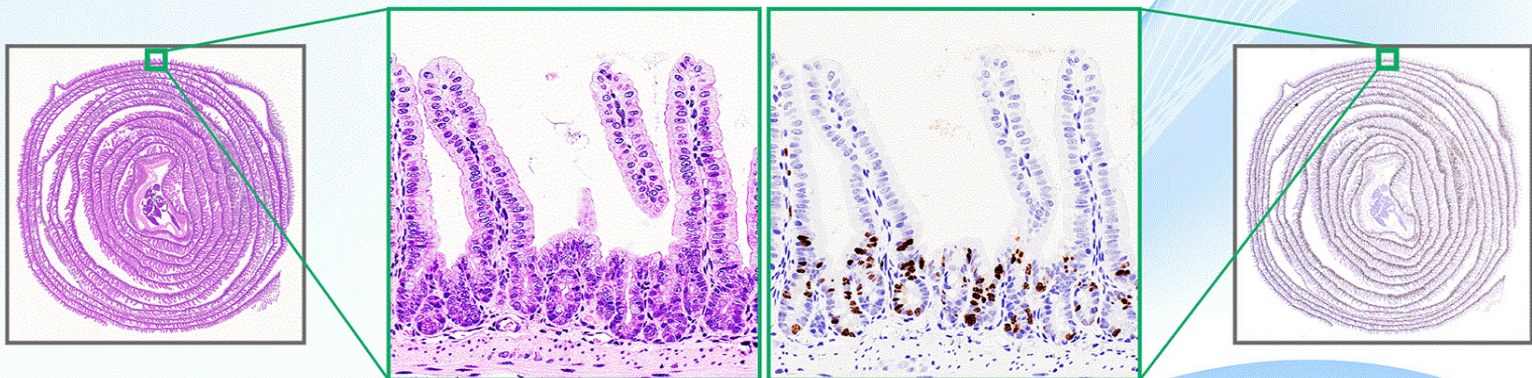
### ・データベース化

大量のバーチャルスライドをデータベース化することにより、離れた施設でも研究者間のデータ共有・ライブラリ構築も可能。

ルーペ画像から強拡大像までスムーズに必要な倍率の画像を取得することが可能

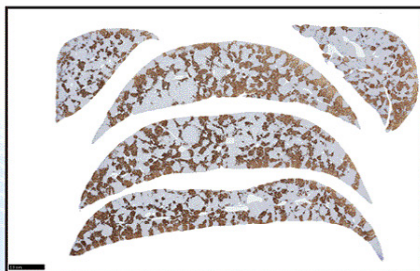
NOG マウス小腸全長画像 (HE 染色)

NOG マウス小腸全長画像 (BrdU 染色)



連続切片により HE 染色と免疫染色の同時観察が可能

デジタル画像からさまざまな画像解析が可能



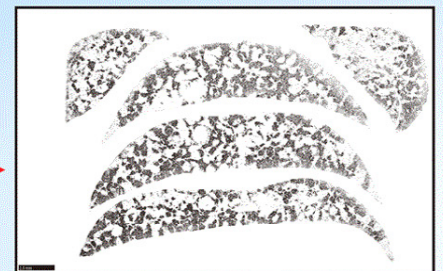
### 抗ヒト mitochondria 染色

ヒト肝キメラマウス肝臓組織。ヒト細胞に特異的に茶色の陽性を示す。



### 肝臓面積測定 (162mm<sup>2</sup>)

画像解析ソフトによる肝臓面積解析。肝臓実質部分のみを計測。



### 生着ヒト肝細胞面積測定 (80mm<sup>2</sup>)

画像解析ソフトによる免疫染色陽性細胞の面積を計測 (ヒト肝細胞置換率 49%)。